

事業概要シート

施策： 消防・救急体制の充実

《 》は、29年度の当初予算

事業名： AED推進事業	現状維持	予算額	2,012 千円
			《 1,958 》
財源内訳		国庫支出金	千円
		県支出金	千円
		地方債	千円
		その他	2,012 千円
		一般財源	0 千円

【事業の目的・概要・対象】

【対象】

市民

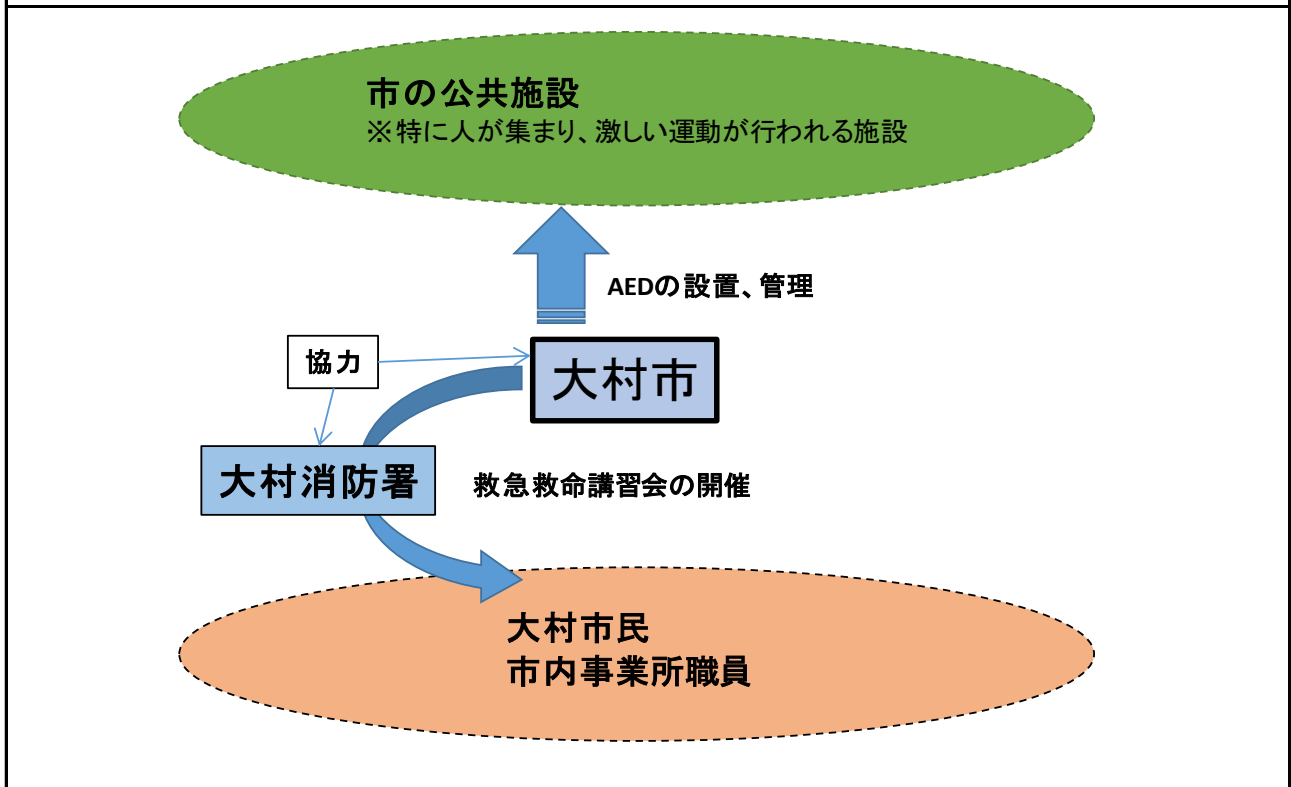
【目的】

心疾患やケガ等に伴う心室細動によって心臓が停止した場合に、自動体外除細動器(AED)を使用し、電気ショックを与えることにより救命率を上昇させる。

【概要】

市内に設置されたAEDの情報を市民に周知するとともに、AEDの機能や正しい操作方法について講習会を開催する。

また、今後も市の公共施設で、特に激しい運動が行われる施設については計画的にAEDを設置していく。



【背景】

救急車到着までの間、除細動までの時間が1分経過するごとに、生存率は約7～10%低下し、心臓が血液を送らなくなると、3～4分以上で脳の回復が困難になる。

救急車の到着を待っているだけではなく、傷病者の近くにいる市民が一刻も早くAEDを使用し、救命活動を行うことが重要である。

担当課	福祉保健部 国保けんこう課	問合せ先	0957-53-4111 (内線152)
-----	---------------	------	----------------------

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	市の公共施設の設置台数 (国保けんこう課管理分)	台	22	22	22	22	22
②	操作講習会回数	回	3	3	3	3	3

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	操作講習会参加者数(市民対象)	人	27	30	30	30	30
②	操作講習会参加者数(企業や団体)	人	55	80	80	80	80

【予算・決算】

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	合計
事業費	1,346	1,587	1,836	1,958	2,012	2,012	10,751
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他	257	257	1,836	1,958	2,012	2,012	8,332
一般財源	1,089	1,312					2,401
人件費	1,002	1,068	1,111	1,111	1,111	1,111	6,514
職員	0.13人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	0.88人
時間外勤務	10h	5h	10h	10h	10h	10h	55h
嘱託員							0.00人
フルコスト	2,348	2,655	2,947	3,069	3,123	3,123	17,265

妥当性 (市の関与)	AEDの啓発を図り、AEDを操作できる市民を拡大することは、市の重要な役割である。
有効性 (施策貢献度)	AEDを使用した救命講習を市職員や市内事業所、一般市民を対象に行い、緊急時にAEDを使用できる市民を増やすことにより、市民の安心・安全な生活に寄与している。
効率性 (コスト)	AEDの推進は、市民の命を守るために重要な事業であるため、設置と維持管理は必要であり、コスト削減の余地はない。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価意見のとおり